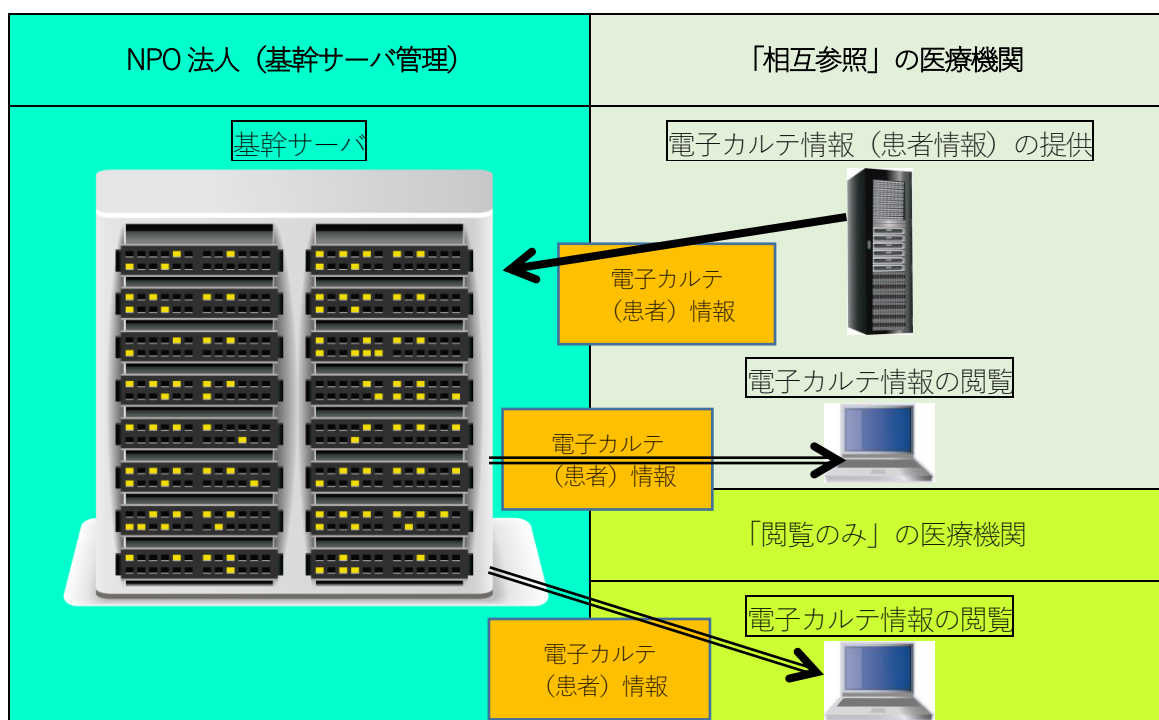


鳥取県医療連携ネットワークシステム（おしどりネット）の概要

1 おしどりネットの概要

- 「おしどりネット」は、医療機関同士で電子カルテ情報（患者情報）を閲覧しあうことができるシステムであり、鳥取県内の電子カルテシステムのネットワークシステムとして、鳥取大学医学部附属病院が整備。
- 平成21年度の開始当初は鳥大病院と西伯病院間のみで運用していたが、県からの補助により他の医療機関も参加できるよう改修し、当該仕様で平成24年5月29日から（再）スタート。
- システムへの参加形態としては、「相互参照」と「閲覧のみ」の2パターン。
 - ※相互参照： 自ら管理している電子カルテ情報（患者情報）を他の医療機関へ閲覧させるとともに、他の医療機関からの患者情報も閲覧。
主に、救急患者を扱う病院がこの形態で参加。
 - ※閲覧のみ： 「相互参照」の医療機関の電子カルテ情報（患者情報）を閲覧するのみで、自ら管理している電子カルテ情報（患者情報）は提供しない（閲覧させない）。
主に回復期、慢性期患者を扱う病院や、診療所（入院用のベッド数が19床以下の医療機関）がこの形態で参加。
- 平成28年度からは、鳥根県西部の医療機関も「閲覧のみ」で参加。
- 令和2年度に運営主体が鳥大病院からNPO法人鳥取県医療連携ネットワークシステム協議会へ移行。



2 加入医療機関等の推移

	平成29年度 (A)	平成30年度 (B)	令和元年度 (C)	比較 (B-A)	比較 (C-B)
開示医療機関数	18 機関	19 機関	19 機関	+ 1	± 0
閲覧医療機関数	46 機関	49 機関	73 機関	+ 3	+24
登録患者数	3,219 人	4,790 人	6,701 人	+1,571	+1,911

※閲覧医療機関には鳥根県の7機関を含む。